

- 昨年末、福島関連サイトの管理人らが集う忘年会に久しぶりに参加。今回は「道路好き」に加えて、「道路を作る側の人」とも懇談することが出来ました。まさに「生き字引き」のような方で、たくさんの苦労話、裏話を伺うことができました。地元の方が地元の道路を作ったわけですから、単に「仕事だから作った」だけではなく、道路や橋に対する愛情も存分に感じられました。この感情は、近代の自作新道、自作隧道に対する気持ちと共通するのかも知れません。（つ）

- 『勝手に月報』にも書いたように、やっと近遺調の仕事が終わりました。あとは事務局の皆さんにお任せです（頑張ってください！>事務局のYさんHさん）。振り返ってみれば、長かったような短かったような2年間で、もうちょっと効率良く進められたらなあ、もっとしっかり調べ／書きたかったなあと思わないでもないですが、きっとそれはどんな調べものにもあてはまるものでしょう。調べれば調べるほどわかることがあり、キリがないから、どこかで区切りをつけないといけません。近遺調もずいぶん長引かせてしまったほうだと思います。

近遺調は終わりましたが、奈良県への興味が尽きたわけではありません。調査を通して学んだことをベースに、もっと深く掘り下げてみたいと思っています。道はもちろんのこと、奈良県の産業や、近代史全般に対して。そうやって道以外のことにも興味を広げられたら、この世は面白いものばかりだ、といことを近遺調で学んだように思います。

次号『西熊野街道Sketch』は三里越にかかる予定です。先月今月に追加調査ができましたので、あと数カ月分はネタのストックがある現状です。どうぞご期待ください。例によって大した遺構は出てきませんが……。蓮根峠も早いうちに記事にします...でないと忘れちゃいますからね。

そうそう、私が手間取ってしまったため今号には間に合いませんでしたが、すでに『那須疏水を歩く』の(2)をご寄稿いただいています。結構ドキワクな内容ですよ～。こちらも乞うご期待です！（な）